

令和元年7月に実施した 経営実態調査（人手不足）結果について公表いたします。（抜粋）

平成26年9月26日より商工会及び商工会議所の支援計画（経営発達支援計画）を経済産業大臣が認定・公表する体制を整備しました。出羽商工会も平成28年度に認定され、小規模事業者の伴走型支援を強化し新たに経営戦略に踏み込んだ支援を実施しています。

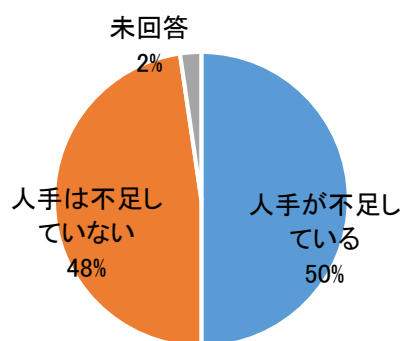
経営課題のヒアリング調査で人手不足が深刻な課題となっていることがみえてきました。今年度は、売上高3千万円以上または従業員3人以上の事業所を対象に人手不足についての実態調査を実施しました。

実施時期：令和元年7月＜対象事業所 売上高3千万円以上または従業員3人以上の事業所＞
回答事業所：388（個人95、法人293）

1. 人手不足に関しどれに該当しますか？

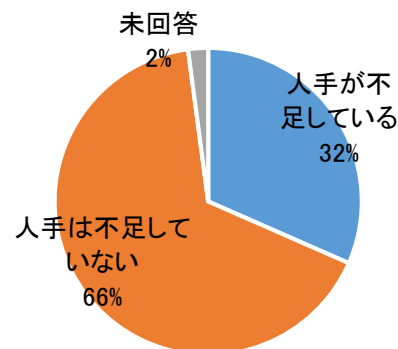
【全体】

人手が不足している	194
人手が不足していない	185
未回答	9
計	388



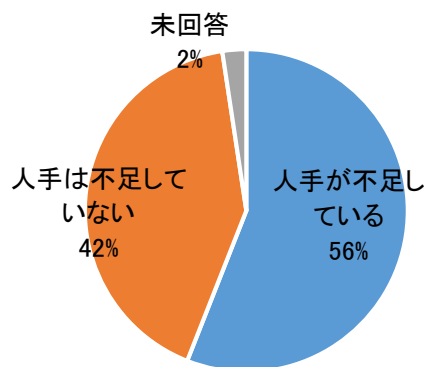
【個人】

人手が不足している	30
人手が不足していない	63
未回答	2
計	95



【法人】

人手が不足している	164
人手が不足していない	122
未回答	7
計	293

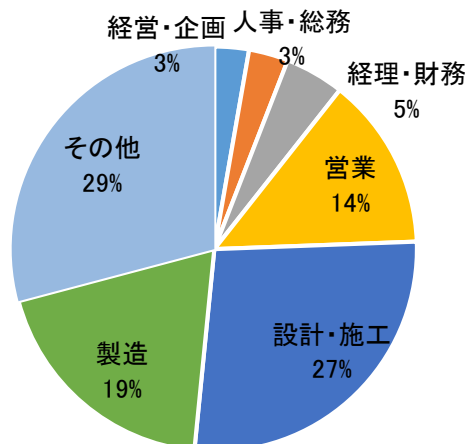


全体では50%の事業所が「人手が不足している」と回答しています。事業形態別にみると個人は32%、法人では56%の事業所が「人手が不足している」と回答しており、法人事業所での人手不足が顕著となっています。

2. 「人手が不足している」とお答えした方へ、どの部門、業務が該当しますか？

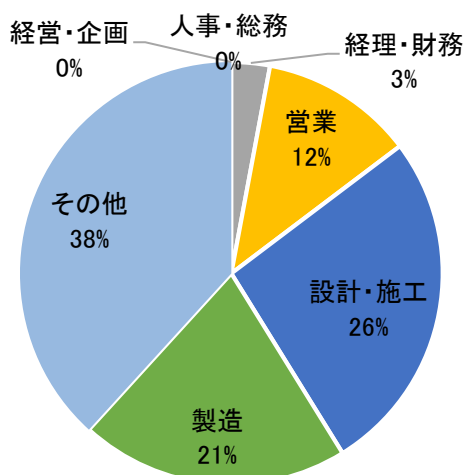
【全体】

経営・企画	7
人事・総務	8
経理・財務	12
営業	35
設計・施工	69
製造	49
その他	74
計	254



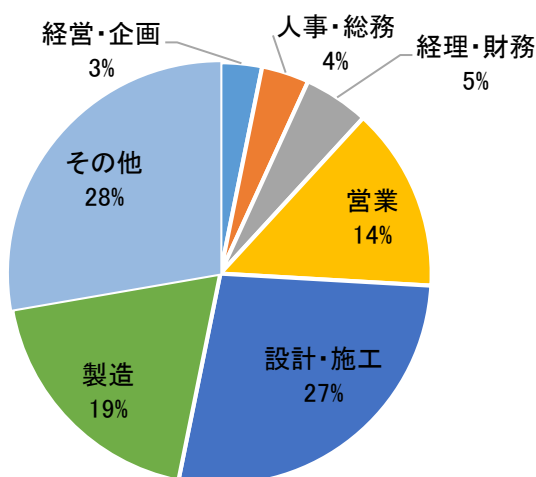
【個人】

経営・企画	0
人事・総務	0
経理・財務	1
営業	4
設計・施工	9
製造	7
その他	13
計	34



【法人】

経営・企画	7
人事・総務	8
経理・財務	11
営業	31
設計・施工	60
製造	42
その他	61
計	220



人手不足を部門別にみると「設計・施工（27%）」、「製造（19%）」、「営業（14%）」が上位にあがっています。

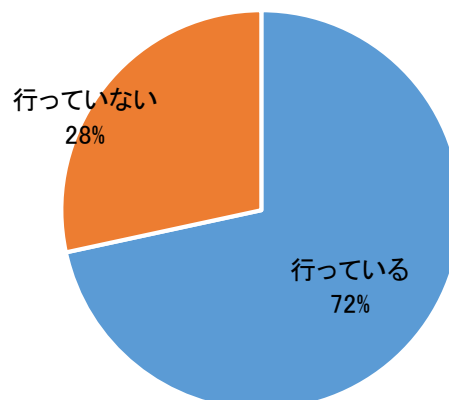
地域経済動向

vol.10 経営実態調査～人手不足編～（出羽商工会）

3. 直近 3 年間で貴社の採用活動の実施状況はいかがですか。

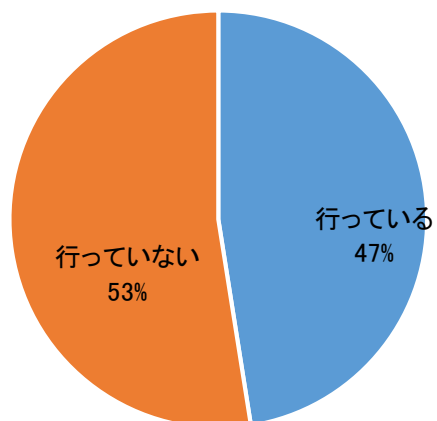
【全体】

行っている	164
行っていない	65
計	229



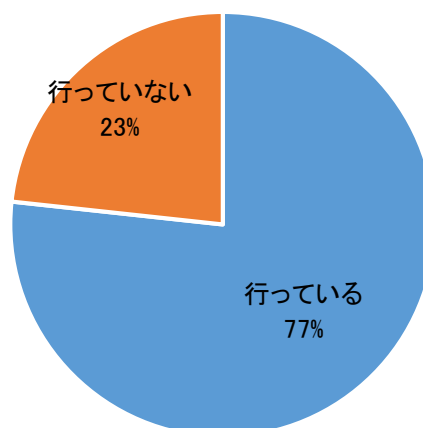
【個人】

行っている	19
行っていない	21
計	40



【法人】

行っている	145
行っていない	44
計	189



直近 3 年間の採用活動状況は「行っている」が 72%となっており、多くの事業所で実施されている状況です。特に法人事業所は 77%と割合が高くなっています。

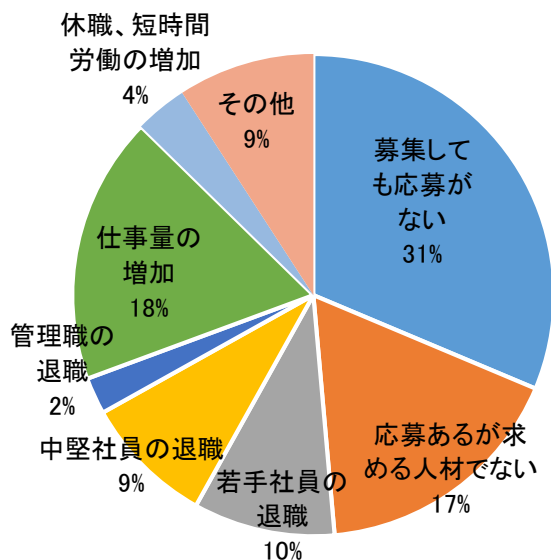
地域経済動向

vol.10 経営実態調査～人手不足編～（出羽商工会）

4. 人手不足の理由について、該当するすべてに○をつけてください。

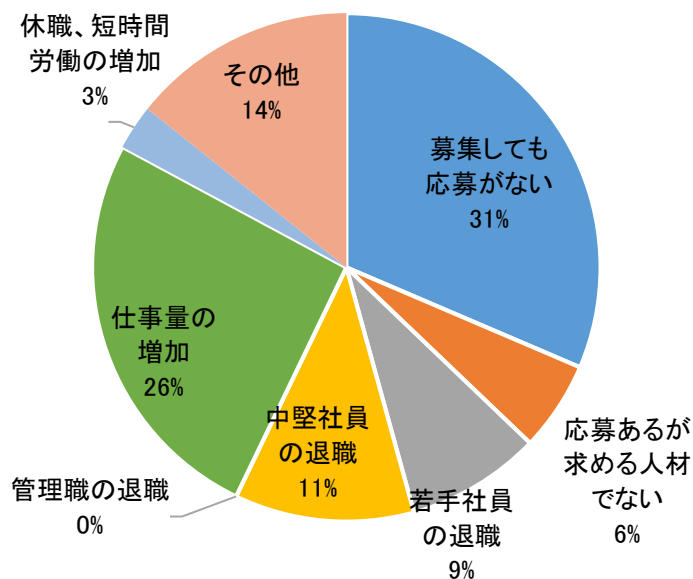
【全体】

募集しても応募がない	89
応募があるが求める人材でない	49
若手社員の退職	27
中堅社員の退職	25
管理職の退職	7
仕事量の増加	51
休職、短時間労働の増加	10
その他	26
計	284



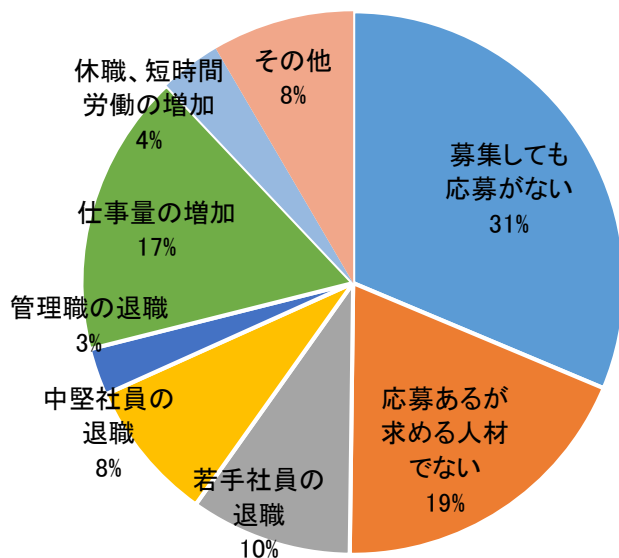
【個人】

募集しても応募がない	11
応募があるが求める人材でない	2
若手社員の退職	3
中堅社員の退職	4
管理職の退職	0
仕事量の増加	9
休職、短時間労働の増加	1
その他	5
計	35



【法人】

募集しても応募がない	78
応募があるが求める人材でない	47
若手社員の退職	24
中堅社員の退職	21
管理職の退職	7
仕事量の増加	42
休職、短時間労働の増加	9
その他	21
計	249



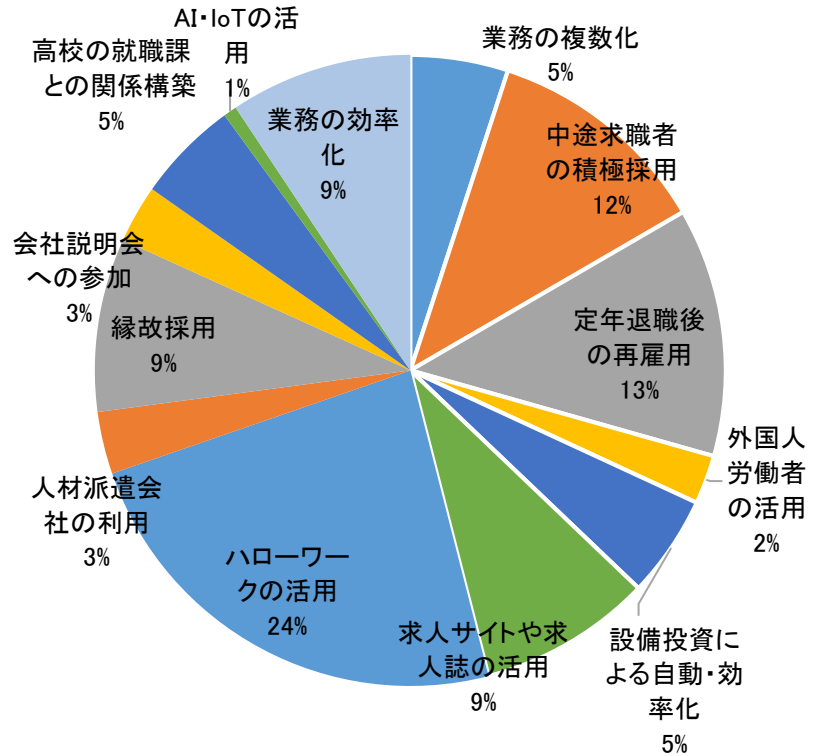
地域経済動向

vol.10 経営実態調査～人手不足編～（出羽商工会）

人手不足の理由に関する調査結果では「募集しても応募がない（31%）」、「仕事量の増加（18%）」、「応募はあるが求める人材でない（17%）」が上位にあがっています。個人では「募集しても応募がない（31%）」、「仕事量の増加（26%）」、「中堅社員の退職（11%）」となっています。法人では、「募集しても応募がない（31%）」、「応募はあるが求める人材でない（19%）」、「仕事量の増加（17%）」となっています。

5. 貴社が行っている人手不足に関する取り組みや工夫についてすべてに○をつけてください。
【全体】

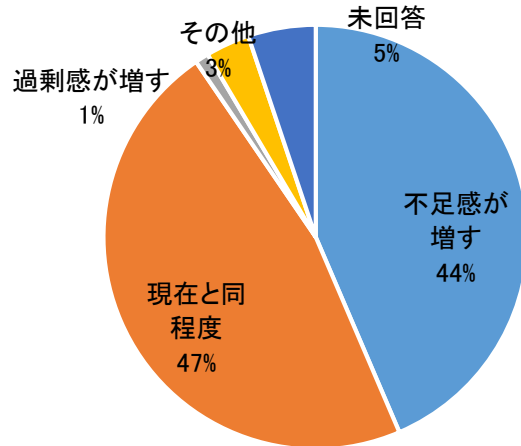
業務の複数化	22
中途求職者の積極採用	51
定年退職後の再雇用	56
外国人労働者の活用	11
設備投資による自動・効率化	23
求人サイトや求人誌の活用	39
ハローワークの活用	104
人材派遣会社の利用	14
縁故採用	39
会社説明会への参加	13
高校の就職課との関係構築	23
AI・IoTの活用	3
業務の効率化	41
計	439



人手不足に関する取り組みでは「ハローワークの活用」とあげた事業所が24%、次いで「定年退職後の積極採用（13%）」、「中途求職者の積極採用（12%）」となっています。

6. 3～5年後の人員充足に関する見通しについて、該当する番号ひとつに○をつけてください。
【全体】

不足感が増す	169
現在と同程度	182
過剰感が増す	24
その他	13
未回答	20
計	388



3～5年後の人員充足に関する見通しでは、47%の事業所が「現在と同程度」と回答しており、44%の事業所が「不足感が増す」と回答しています。

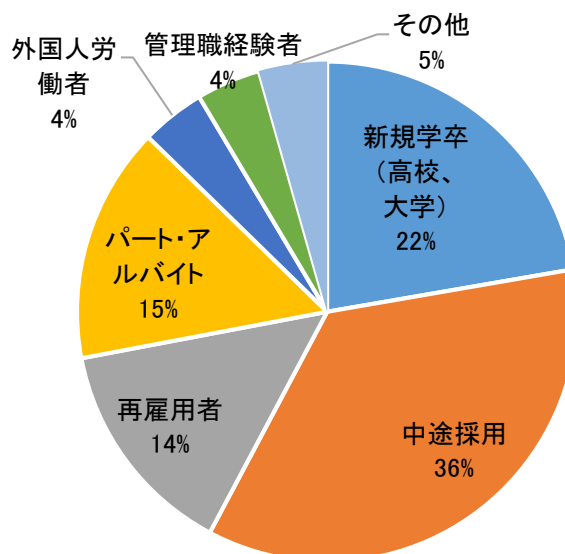
地域経済動向

vol.10 経営実態調査～人手不足編～（出羽商工会）

7. 「不足感が増す」とお答えした方に、今後求める人材について○をつけてください。

【全体】

新規学卒（高校、大学）	86
中途採用	137
再雇用者	55
パート・アルバイト	59
外国人労働者	16
管理職経験者	16
その他	17
計	386

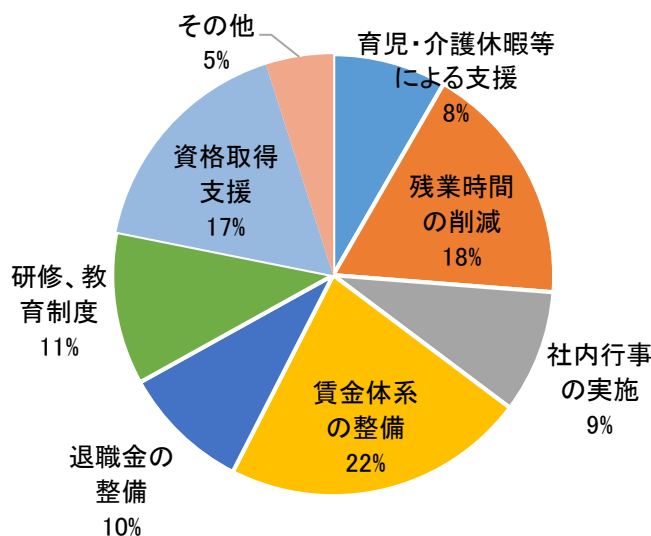


今後求める人材については「中途採用（36％）」、「新規学卒（22％）」、「パート・アルバイト（15％）」が上位にあげられています。

8. 魅力ある職場づくりのため取り組んでいることに該当する番号に○をつけてください。

【全体】

育児・介護休暇等による支援	61
残業時間の削減	131
社内行事の実施	66
賃金体系の整備	163
退職金の整備	69
研修、教育制度	82
資格取得支援	124
その他	36
計	732



魅力ある職場づくりのため取り組んでいる内容として「賃金体系の整備（22％）」、「残業時間の削減（18％）」、「資格取得支援（17％）」となっています。

全体を通して人手不足は深刻な課題となっており、特に法人事業所で課題となっています。国が進める働き方改革も、現在の労働力人口の減少を見込んだ改革であり、これに取り組む様々な支援メニューが用意されていますので出羽商工会にご相談ください。